

クリス・ストロール先生の 英語上達へのアドバイス

【その1】 Don't Be Shy

6月から英語コミュニケーション講座が始まりました。講師は前回と同じカナダ・バンクーバー出身のクリス・ストロール先生です。講座スタートに当たり、先生から、日本人がより英語をうまく話す為のコツなどをうかがいました。(広報部K)

私が生徒たちに度々伝えるのは、恥ずかしがらないということです。多くの人が英語を勉強する際に緊張してしまい、意見を述べることや質問をすることをためらいますが、英語の練習には、実際に人と話すことがうってつけなのです。「習うより慣れよ」です。私は、時々"don't be shy!"と言って、生徒たちに話すこと、特に質問をすることを促します。コミュニケーションで大切なことは、質問が出来るということなので、気楽に質問が出来れば、流暢さの実現へと向かっています。

クリス・ストロール

(原文)
One thing I say to my students from time to time is to not be shy. Many people are nervous when they learn English and they often hesitate to give their opinions and ask questions, but actually speaking with people is the only way to practice English. Practice makes perfect, right? So sometimes I say "don't be shy!" to encourage my students to speak and especially to ask questions. The ability to ask questions is essential for communicating so if learners are comfortable asking questions, they are really on the road to achieving fluency.



クリス・ストロール先生

Chris Strahl

Event Information from SACE 交流イベント情報

◆国内交流自治体からのお知らせ◆

●小千谷市ふるさと市場

新潟県小千谷市の特産品販売・小千谷縮の展示と販売

◇開催日：7月2日(水)
◇場所：区役所中杉通り側入口前・1Fロビー

●青梅市観光展

青梅市の特産品販売と観光写真の展示

【物産展】
◇開催日：7月17日(木)・18日(金)
◇場所：区役所中杉通り側入口前

【写真展】

◇開催日：7月14日(月)～18日(金)
◇場所：区役所2F区民ギャラリー

●忍野村観光展

山梨県忍野村の物産販売と「忍野富士」の写真展

【物産展】
◇開催日：7月30日(水)
◇場所：区役所中杉通り側入口前

【写真展】

◇開催日：7月28日(月)～8月1日(金)
◇場所：区役所1Fロビー・2F区民ギャラリー

●名寄市とうもろこしまつり

北海道名寄産とうもろこしの販売
◇開催日：9月3日(水)～5日(金)
◇場所：区役所中杉通り側入口前

●北塩原村観光物産展

新鮮野菜をはじめ、温泉を煮詰めて作った「山塩」や「花豆」等の特産品の販売
◇開催日：9月16日(火)・17日(水)(予定)
◇場所：区役所中杉通り側入口前・1Fロビー

●南伊豆町観光物産展

伊勢海老の味噌汁試食サービスのほか、干物や海藻など南伊豆町の特産品販売
◇開催日：9月19日(金)
◇場所：区役所中杉通り側入口前・1Fコミュニケーションショップ前

※上記問合せは、文化・交流課交流推進担当
03-3312-2111(代表)へ

◆杉並区・他交流自治体でのイベント◆

●相馬野馬追(福島県南相馬市)

◇開催日：7月26日(土)・27日(日)・28日(月)
◇問合せ：相馬野馬追執行委員会

●第66回 青梅市納涼花火大会

◇開催日：8月2日(土)
◇問合せ：青梅市観光協会

●第61回 阿佐谷七夕まつり

◇開催日：8月6日(水)～10日(日)
◇問合せ：阿佐谷七夕まつり連合会

●第58回 東京高円寺阿波おどり

◇開催日：8月23日(土)・24日(日)
◇問合せ：東京高円寺阿波おどり振興協会

●片貝まつり奉納煙火(新潟県小千谷市)

◇開催日：9月9日(火)・10日(水)
◇問合せ：片貝町煙火協会

※上記イベントの詳細は、各主催者のホームページ等でご確認ください。

「交流ニュース」へのご意見・ご要望・メッセージなどをお寄せください。お待ちしております。



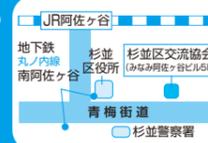
すぎなみ交流ニュース

第33号

2014年7月

Suginami Cultural Exchange News

수기나미 교류 소식
杉並的交流消息



会員になりませんか?
～詳細は裏表紙～



◆発行:杉並区交流協会 [Suginami Association for Cultural Exchange (SACE)]

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-2 みなみ阿佐谷ビル5階 [Minami-Asagaya Bldg. 5F 1-14-2 Asagaya-Minami, Suginami-ku, Tokyo 166-0004 Japan]
TEL.03-5378-8833 FAX.03-5378-8844 E-mail:info@suginami-kouryu.org

<http://www.suginami-kouryu.org/>

◆年4回発行◆協会情報誌は区内施設窓口、区内の駅広報スタンドなどに置いてあります。この印刷物は古紙配合率40%の再生紙を使用しています。



ウエルカムパーティー2014 開催!

杉並区には1万人を超える外国人が暮らしております。新たに区民となった外国人を歓迎し、既存区民との交流を深めるとともに、当区で安全で安心の生活を送るのに必要な防災知識を得るための体験を行うことを目的とした恒例の交流パーティーが5月17日(土)、区立杉並第一小学校で開催されました。当日は天候にも恵まれ、23の国・地域(詳細:下記(注I))からの外国人60名、日本人51名、関係者・ボランティアを含めて総勢201名が参加しました。外国人ではネパール人の14名、タイ人の9名の参加が目立ち、又、区内の大学・日本語学校・学生寮などからの若者や親子での参加も目立ちました。

開会式では、本イベント開催に協力いただいた関係機関/会社(詳細:下記(注II))やアニメを通しての国際交流も目指している「阿佐ヶ谷アニメストリート」の皆様(コスプレをして参加)が紹介されました。続いて、挨拶ゲームや人数集めゲームなどのレクリエーションが行われ、参加者同士が打ち解けたところで、防災体験がスタートしました。

防災体験は、今年は杉並警察署の協力で、①自転車の安全利用指導が新たに加わり、②ガスの使用方法、③非常用持ち出しグッズ/杉並区防災マップの紹介、④消防関連訓練(ロープワーク/煙体験/初期消火/119番通報)、⑤応急救護方法/AEDの使用法、⑥ゴミの分別方法の6つに分かれて行われ、各防災指導者の説明・指導の下、10班に分かれた各グループが10分～20分毎に順番に体験しました。体験内容が人命に関わるが多かったこともあり、参加者も真剣に説明を聞き、体験していましたが、特に外国人の参加

者が、分からないことは通訳ボランティアに確認し、体験にも積極的に参加していたのが印象的でした。

昼食はお湯(または水)を入れればできる防災米(アルファ米)に丸美屋食品工業(株)(本社:杉並区)提供の「混ぜ込みわかめ」を使用し、おにぎりを作りました。外国人の多くは慣れない手つきで苦労しながら作ったおにぎりと味噌汁を、グループメンバーと一緒に、満足げにおいしそうに味わっていました。

また、すぎなみ環境ネットワークの食器を使用し、イベント時にごみを出さない「ディッシュ・リユース・システム(DRS)」も体験しました。

防災体験・昼食を通してお互いの親しさも増した昼食後は、軽妙な司会・進行の中、じゃんけんゲームやジェスチャーゲームなどが行われ、国籍や言葉の壁も乗り越えた参加者たちの活発な交流が展開されました。やがて予定の時間を迎え、盛況のうちに閉会式となりました。

参加した方々からは、「楽しい一日でした」、「普段経験できない貴重な体験ができた」、「多くの人々と知り合えるきっかけとなった」などの実感のこもった声が聞こえました。

今回取材という立場で、本イベントに参加しましたが、杉並区に長年住んでいても防災関連で改めて知ることがいくつもあり、勉強になりました。又、周到な準備と開催回数を重ねてきた実績から、防災体験での10班による順番移動など運営面で難しいことがあったと思われますが、ほぼ予定通りのタイムスケジュールで進行・終了できたことには感心しました。(広報部Ka)



ゴミの分別は聞いて納得



協力しながら昼食づくり



昼食後のレクリエーション(じゃんけんゲーム)



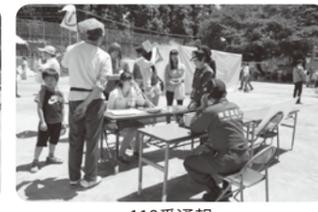
「阿佐ヶ谷アニメストリート」のみなさま



消火(慌てず、火元に目がけて)



自転車の安全利用指導



119番通報

交流協会の会員になりませんか?

杉並区交流協会では、国内・国際交流の推進をはかるために、様々なイベントを企画しています。あなたも会員になって、楽しく交流しませんか?

年度会費

・個人会員 1,000円/年
(9月以降入会の場合は初年度に限り500円)
・法人会員 20,000円/年

会員期間

入会の月から3月31日まで(当年度末)

会員特典

- ① イベントの情報や交流に関する情報紙 [交流ニュース(年4回発行)・NEWS LETTER(年8回発行)など] をお届けします。
- ② 協会が実施するイベントに優先的に参加できる会員枠があります。
- ③ イベント参加費に会員割引があります。

申込方法

入会希望の方は杉並区交流協会まで電話・ハガキ・Fax・E-mailにより申込書類をご請求ください。

(注I)23の国・地域の内訳:イタリア、イラン、インド、インドネシア、エルサルバドル、カナダ、グアテマラ、コロンビア、サモア、スウェーデン、セネガル、タイ、チュニジア、ドイツ、ネパール、パラオ、ブラジル、ベトナム、モロッコ、韓国、台湾、中国、日本
(注II)協力いただいた関係機関/会社:杉並警察署、杉並消防署、杉並消防団、杉並区防災課、杉並清掃事務所、東京ガス株、NPO法人すぎなみ環境ネットワーク、葛飾福祉工場



杉並区交流自治体 【災害時相互援助協定締結】南相馬市レポート

●杉並区の南相馬市支援の取り組み

— 2014年5月現在

東日本大震災から3年の月日が流れましたが、災害に見舞われた地域では、今も復興に向けて懸命な努力が続けられています。

杉並区は、南相馬市と災害時相互援助協定を結んでいる関係で、震災直後から支援に取り組んでいます。今回は、その支援の一端をご紹介します。

震災以降、区民の皆様や篤志家の方々から寄せられた「義援金・寄付金」は、総額で約5億8千万円（平成26年3月末現在）に達しました。市ではこの義援金等を原資に「南相馬市みらい夢基金」を創設し、平成25年度はこの基金から、震災遺児支援、学校図書館支援のほか、杉並区とのスポーツ交流事業など、南相馬市の未来を担う次世代育成のために活用されています。



相馬野馬追は、今年も7月26日(土)・7月27日(日)・7月28日(月)の日程で開催。

また、人的支援として、南相馬市の要請に応じて、区職員の派遣を行っており、昨年に引き続き現在も、事務職、土木職そして建築職あわせて8名の職員が南相馬市の復興事務等に携わっています。

その他にも、震災を風化させないためのイベントを開催するなど、交流自治体として各種事業を実施しています。これからも一日も早い復興に向けて、引き続き支援に取り組んでまいります。

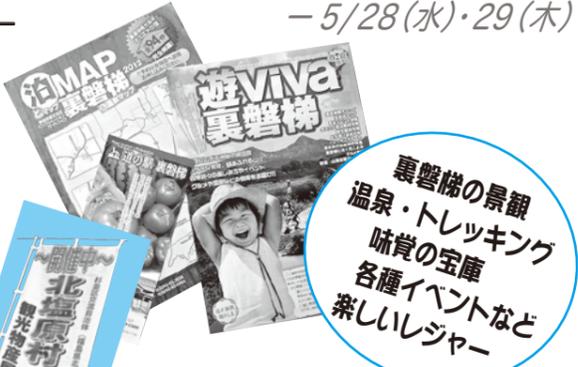
杉並区交流自治体 【まるごと保養地協定・災害時相互援助協定締結】北塩原村レポート

●初夏の北塩原村観光・物産展より

— 5/28(水)・29(木)

当日は、区役所中杉通り側入り口前で物産展、そして、区役所ロビーでは、観光スポットの写真展が開催されました。

「物産展」コーナーでは、北塩原村の新緑の中で育まれた、新鮮でふだんでは見かけられないような、立派な野菜の数々などが並べられました。特に山菜などはこの時期ならではの珍しさもあって、買い物客の関心を誘い人気が集まりました。そして、野菜や特産品などの商品はどれもほぼ完売という盛況さでした。



裏磐梯の景観
温泉・トレッキング
味覚の宝庫
各種イベントなど
楽しいレジャー

「写真展」、「物産展」両コーナーでは、地元の観光協会はじめ担当の方々が、元気な笑顔で説明や販売にあたっていました。

このような観光物産展は、各交流自治体単位で度々行われています。区民の皆様のご来場をお待ちしております。

(広報部Y)

産直の
アスパラ
エシャレット
葉タマネギ
などの新鮮野菜

山塩・花豆煮付け
地酒・そば・漬け物
などの特産品

絶対にお得な品々でした！

もっと北塩原村を知りたい方は、以下を検索してみてください。
北塩原村役場 HP <http://www.vill.kitashiobara.fukushima.jp/>
裏磐梯観光協会 HP <http://www.urabandai-inf.com/>

リポート 杉並区・小千谷市交流10周年記念イベント 5月19日(月) 錦鯉贈呈式・ふるさと市場・ロビーコンサート開催

今年には杉並区と新潟県小千谷市が「災害時相互援助協定」を締結して10周年にあたります。平成16年5月の協定締結から半年もたない10月23日に中越地震が発生し、小千谷市は震度6強の激震に見舞われました。そのわずか3年後の平成19年7月16日には、再び中越沖地震を経験。立て続けに大きな震災を二度も経験した小千谷市ですが、復旧・復興はほぼ完了し、新たなまちづくりに取り組んでいます。5月19日の杉並区・小千谷市交流10周年記念イベントには、小千谷市の谷井靖夫(やついやすお)市長ほか多くの関係者が参加され、市民・区民の交流をさらに深めていくことを確認しました。

小千谷市から杉並区へ錦鯉を贈呈

別名「泳ぐ宝石」と呼ばれる小千谷市特産の錦鯉は、漁協関係者によると、江戸時代に食用として飼われていた鯉に突然変異で色のついたものが現れたのが始まりだといわれます。一尾一尾に現れる模様や色合いを左右するえさの配合は「企業秘密」。各生産者は、鯉の様子を見ながら毎年その配合を工夫します。専門の生産者は40～50軒。驚いたことに、なんと育てた鯉の8～9割は、海外に輸出されています。



贈呈式では、小千谷市の谷井靖夫市長から杉並区の田中良区長に錦鯉30尾の目録が手渡されました。贈呈された錦鯉は荻窪東保育園の園児たちが見守る中、区立大田黒公園の池に放流されました。公園の入園料は無料です。杉並区と小千谷市をつなぐ「泳ぐ宝石」たちをぜひ一度ご鑑賞ください。



ロビーコンサート

贈呈式に続いて行われた日本フィルハーモニー交響楽団(日本フィル)のコンサートでは、クラシックやテレビドラマのテーマ曲などが演奏されました。事前の広報でコンサートがあることを知って駆けつけた人たちの



ほかに、偶然コンサートの時間帯に区役所を訪れた人たちは、「今日はなんて運がいいんでしょう」と立ち止り、美しい音色に聞き入っていました。

小千谷市の紹介と杉並区との交流

杉並区と小千谷市の交流は、「東京小千谷学生寮」が杉並区井草に建てられたことをきっかけに始まりました。災害時相互援助協定を結ぶ以前から、両自治体の市民や小学校間の交流が行われていたのです。

10周年記念イベント第二弾として、7月12日～13日には杉並区民約80名が小千谷市を訪問します。「夏の小千谷・音楽と交流の旅」と銘打つこのツアーでは、牛の角突きや、震災ミュージアム、錦鯉の里の見学、日本フィル弦楽四重奏団とソプラノ歌手・湯浅桃子さんによる復興記念コンサート、小千谷市民との交流などが予定されています。



小千谷ふるさと市場「最近ではリピーターの人たちが増えています」(担当者)

「なみすけ」と「よし太くん」の共演

このたび、杉並区のキャラクター「なみすけ」と小千谷市イメージキャラクターの「よし太くん」のツーショットが実現しました。「よし太くん」という名前は、小千谷市の伝統行事・牛の角突きで、勢子の人たちが牛たちを励ますときの「ヨシター」という掛け声に由来しています。「よした」は、小千谷の人たちが「よく頑張った」という時にも使う言葉です。



谷井市長は、「牛の角突きは牛どうしが角を突き合わせて押し合うもの。引き分けが原則なので家族で安心して見学できます。押し合いで興奮した牛を引き離す勢子の妙技や勇姿も牛の角突きを楽しむときの醍醐味」と角突きの魅力を紹介されました。

杉並区は小千谷市をはじめとする国内9自治体と災害時相互援助協定を結んでいます。田中区長は、「協定を結ぶだけでは不十分。いざというときに力を発揮できるかどうかは、日頃の付き合いがカギになる」と強調されました。災害はいつ、どこで起きるか分かりません。経済・文化・教育・観光などさまざまな分野で市民も含めた交流の機会を広げ、顔の見える関係を作っておくことの大切さを感じさせられた一日でした。(広報部T)